

子どもたちと、よりよい明日を結ぶ「架け橋」



2021年度
第2号
12月発行
特別支援教育課

～鴨島支援学校進路ニュース～

[illegible]

◆高等部就業体験

高等部2年生の2名は、1学期に体験した施設とは別の施設で実施しました。まずは体験してみたいと思う施設の見学を保護者と共に行い、「就業体験したい！」という気持ちを確認してから臨むようにしました。前日には保護者と共に施設へ行き、事前の挨拶や打合わせを行いました。生徒の体調や実習先のスケジュールにより、2～3日の体験期間としました。卒業後の生活へ向けての挑戦で、緊張すること多かったと思いますが、元気に活動することができました。他の利用者の方や施設の職員の方とも交流を深めることができ、将来の利用について具体的に情報交換ができる良い機会となりました。



ハーネス組み立て



ちぎり作業

就業体験		
S・Dさん	「阿波かしがおか」 多機能型事業所（阿波町）	11月16日～18日 （3日間）
K・Yさん	「れもん吉野」 多機能型事業所（吉野町）	11月24日～26日 （3日間）
K・Yさん	「いーちステップ」 多機能型事業所（上板町）	12月16日～17日 （2日間）



◆働く体験事業『ジョビっと』参加

徳島県立総合教育センターが主催の「働く体験事業『ジョビっと』」に、小学部児童1名が参加しました。11月18日（木）と11月24日（水）の2日間、藍住にある障害者福祉サービス事業所クローバーで両日とも約2時間程度、造花作業と風の骨組み作業に取り組みました。

参加に際しては、センターの担当者、クローバーの職員の方々と担

任が、事前に情報共有や作業の詳細など共通理解を図りました。そのおかげで児童も安心して参加することができました。実際の働く場面では、事前学習で児童が決めた「挨拶」「報告」「質問」に挑戦することができました。児童にとって将来の仕事を考えるきっかけや自己理解を深める良い機会となりました。



◆ゆめチャレンジフェスティバル2021

「ゆめチャレ」は、企業の方に特別支援学校生徒の「働きたい想い」を知っていただき、就労についての理解を深めることを目的として、12月15日（水）に総合教育センターで開催されました。本校からも高等部生徒2名が参加しました。ステージ上で、働く意欲や仕事に対する想いの宣言があったり、職業技能の向上を目指し、技能検定の実演があったりと、他校の生徒の頑張りを間近で感じることができました。また、校内では中学部生徒1名がリモート視聴しました。



他校の生徒と共に
受付係を行いました

◆中学部保護者施設見学

懇談等を通じて、保護者の方から「どんな施設があるのかな。」「卒業後の生活する場所や就業内容が気になる。」等、ご意見をいただきました。それを受けて、担任や進路担当者が保護者と共に施設見学を実施しました。施設の方から、施設やサービスの概要を説明していただいたり、利用者の方が作業・活動をしている様子を見せていただいたりしました。

見学後、「卒業後の具体的なイメージができた。」「施設によって活動内容が違っていた。」「もっと色々な施設を見学したい。」等の感想をいただきました。今後も、施設見学は個別に対応させていただこうと考えています。ご希望がありましたら、担任にお伝えください。

施設見学先一覧	
阿波かしがおか	阿波市阿波町
とおりゃんせ ワールド	名西郡石井町
ルキーナうだつ	美馬市脇町
草の実学園	鳴門市大麻町
しあわせの里	鳴門市大麻町

◆「地域生活支援拠点等事業」

障がいのある方々の高齢化及び重度化、「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供するため、障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針が出されました。

これにより、阿波市・吉野川市で「緊急時受入事業」が実施されるようになります。各市町村毎に進められているため、徳島県内でもそれぞれ内容が異なります。詳しくは、お近くの各市町村窓口にお問い合わせください。

